

2022年3月期第1四半期 決算説明会

2021年7月28日



執行役 営業本部長

松井 英彦

執行役 財務本部長兼CFO

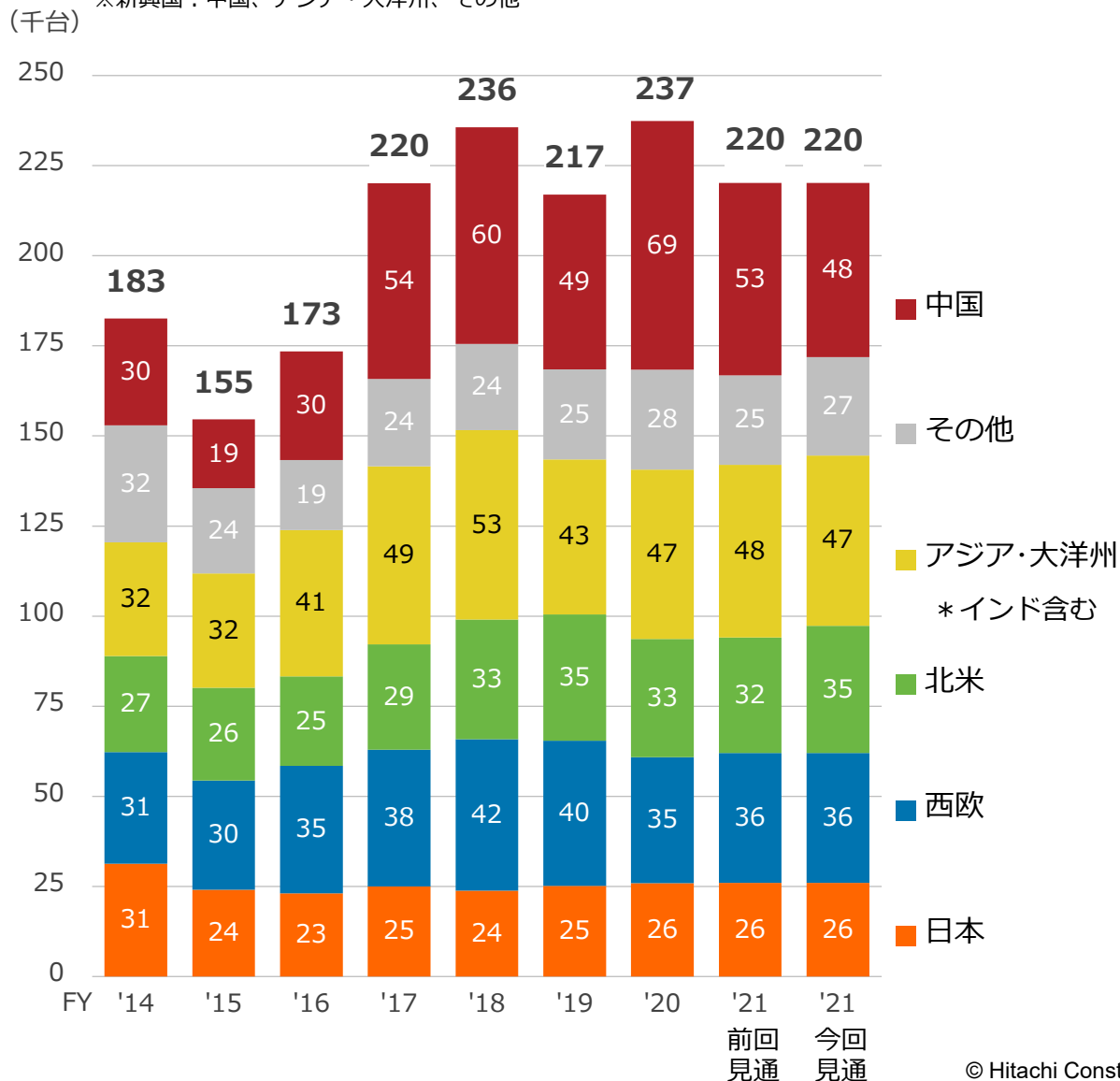
塩嶋 慶一郎

1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役 営業本部長
松井 英彦

新興国比率：21年度 56%（前年比-5%）

※新興国：中国、アジア・大洋州、その他



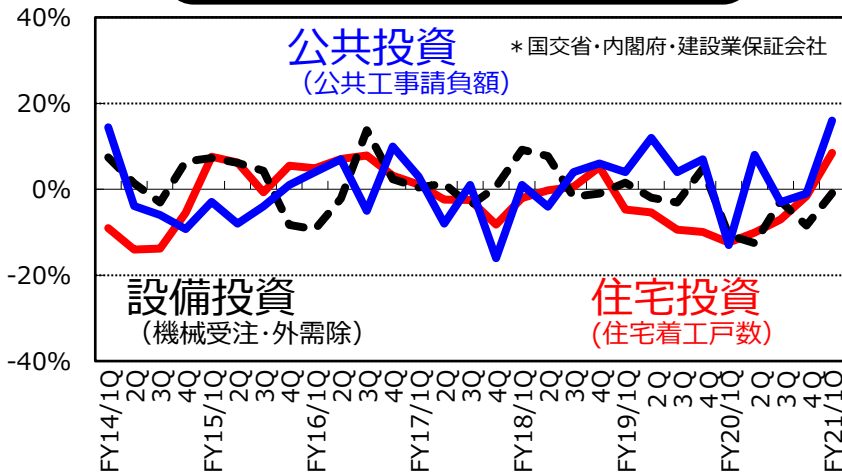
地域別需要対前年増減

※当社推定 中国国産メーカ含まず
※複写・転用はご遠慮下さい

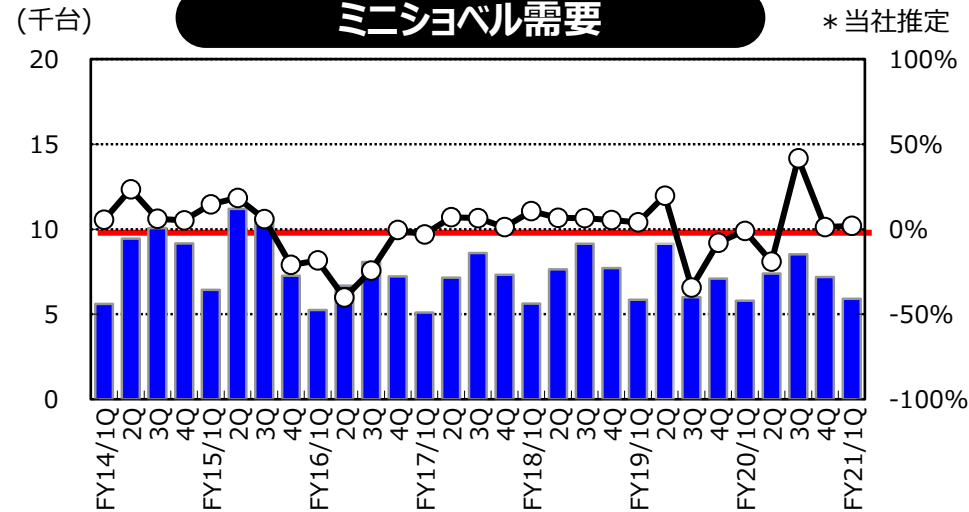
	'20	'21
合計	+9%	-7%
中国	+42%	-30%
ロシア・CIS	-7%	+0%
東欧		
アフリカ	+10%	-10%
中東	+10%	+0%
中南米	+34%	-0%
その他	+11%	-2%
アジア	+12%	+5%
インド	+5%	-4%
オセアニア	+16%	-1%
アジア・大洋州	+9%	+1%
北米	-6%	+8%
西欧	-13%	+3%
日本	+3%	+0%

- 住宅投資、公共投資は増加。設備投資は前年と同水準まで改善。
- 需要は増加：前年同期比 油圧 +6%、ミニ +2%、WL +17%

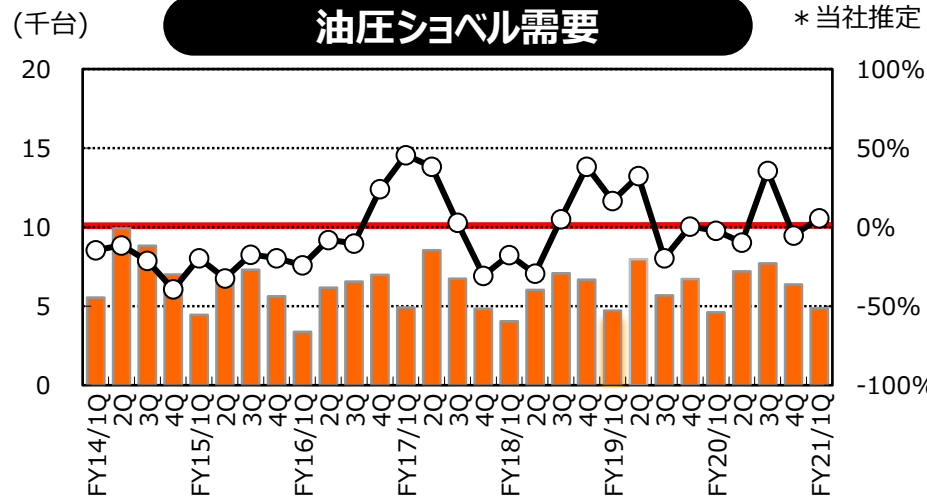
住宅・設備・公共投資 (前年同期比)



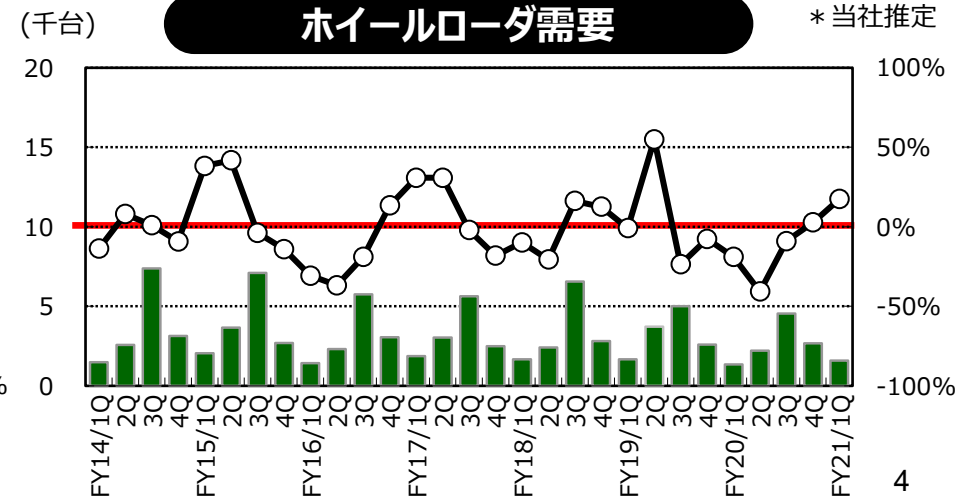
ミニショベル需要



油圧ショベル需要



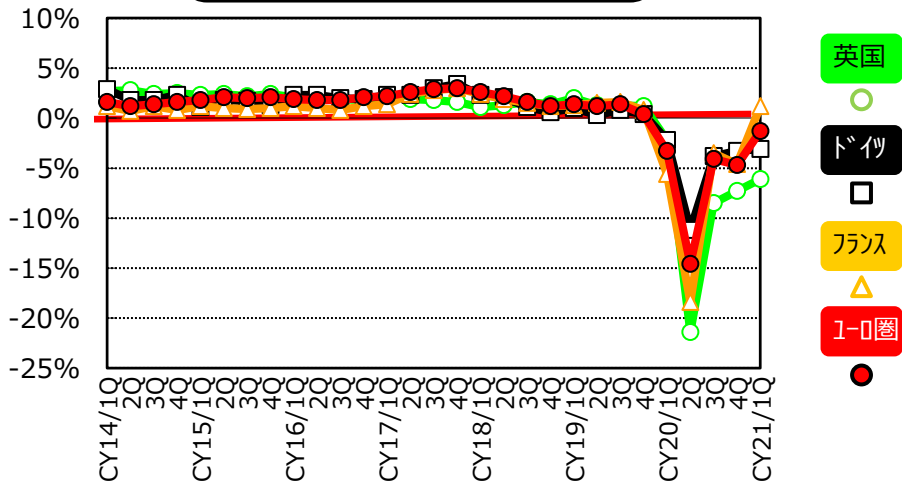
ホイールローダ需要



- ユーロ圏全体のGDP成長率は改善傾向。
- 需要は大幅増：前年同期比 油圧 +33%、ミニ +33%、WL +32%

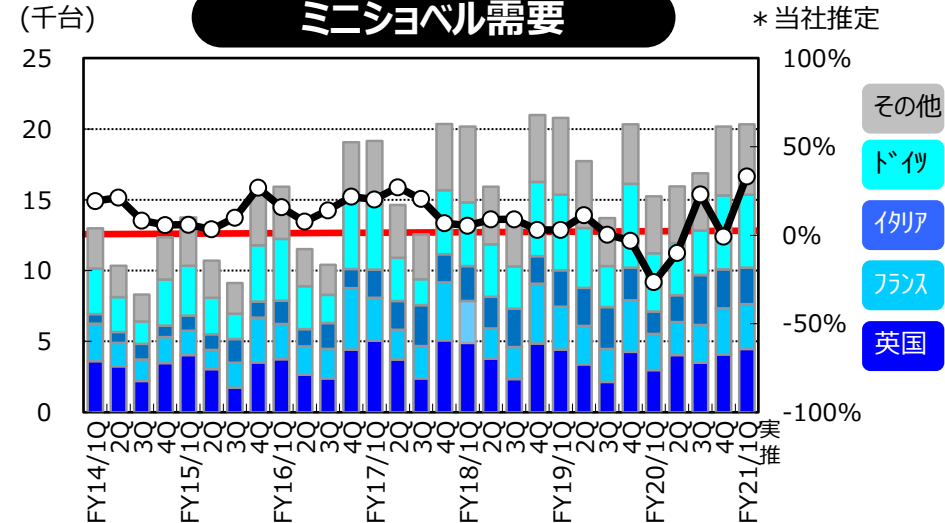
主要国GDP (前年同期比)

* Source: Eurostat



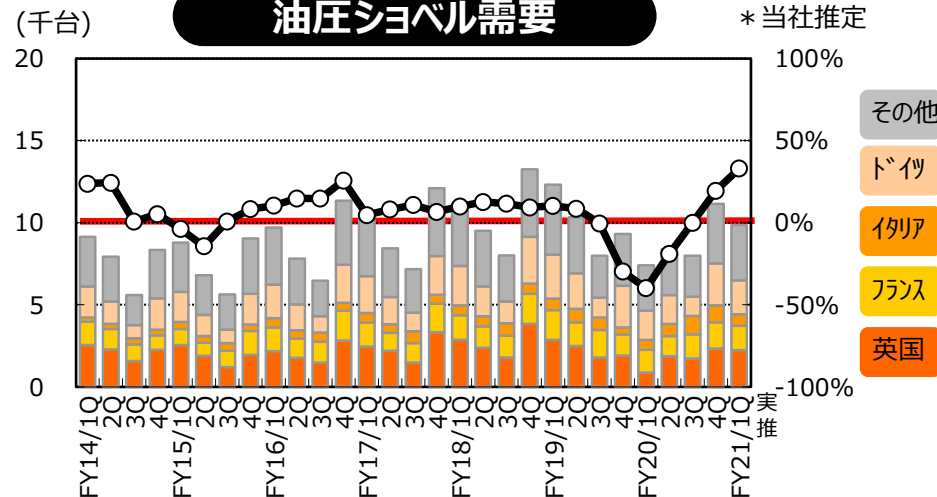
ミニショベル需要

* 当社推定



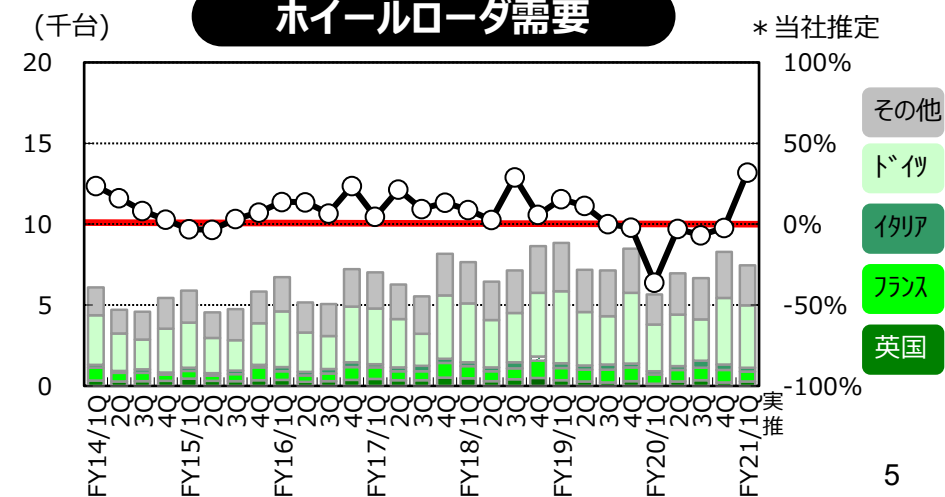
油圧ショベル需要

* 当社推定



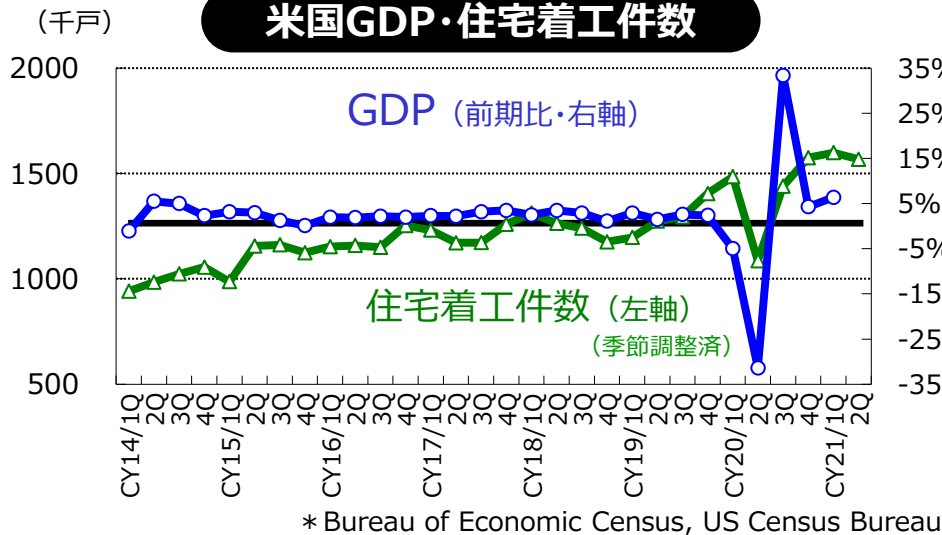
ホイールローダ需要

* 当社推定

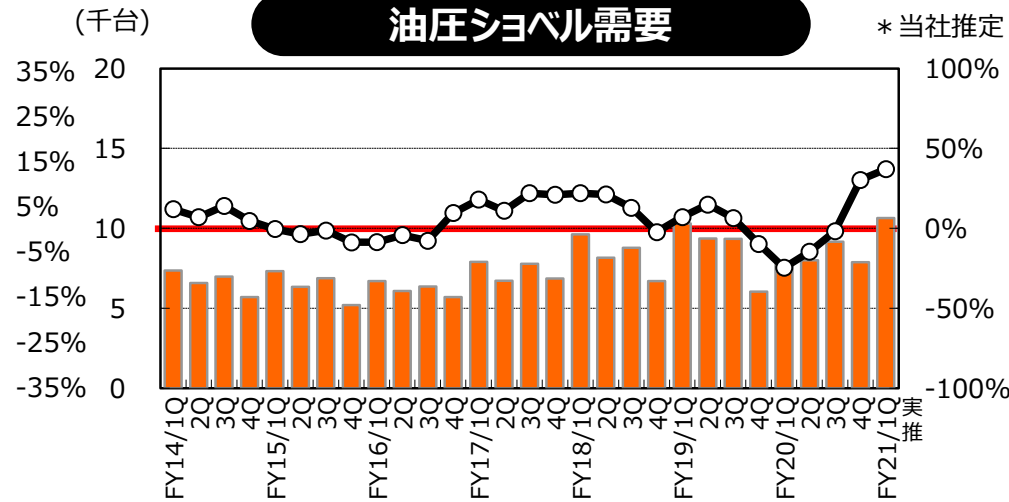


- 住宅着工件数、建設投資の一般住宅は増加継続。商業施設と公共工事は前年並み。
- 需要は大幅増：前年同期比 油圧 +37%、ミニ +28%

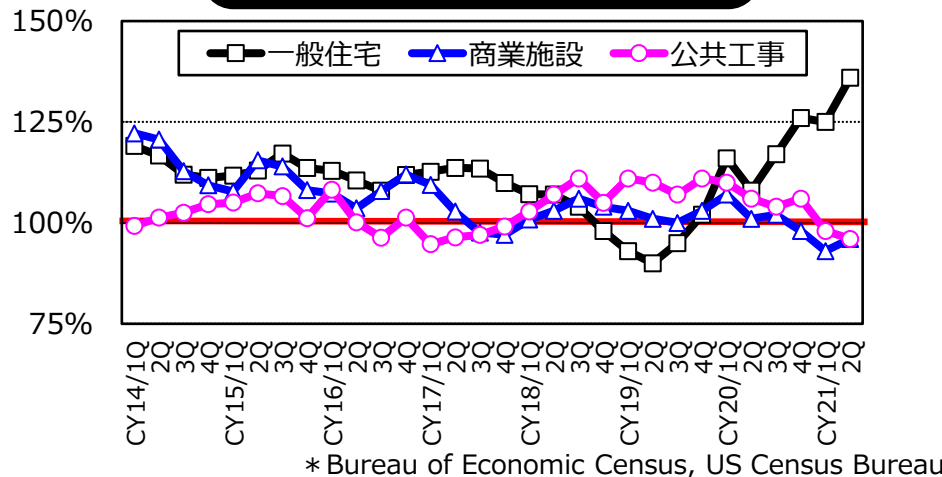
米国GDP・住宅着工件数



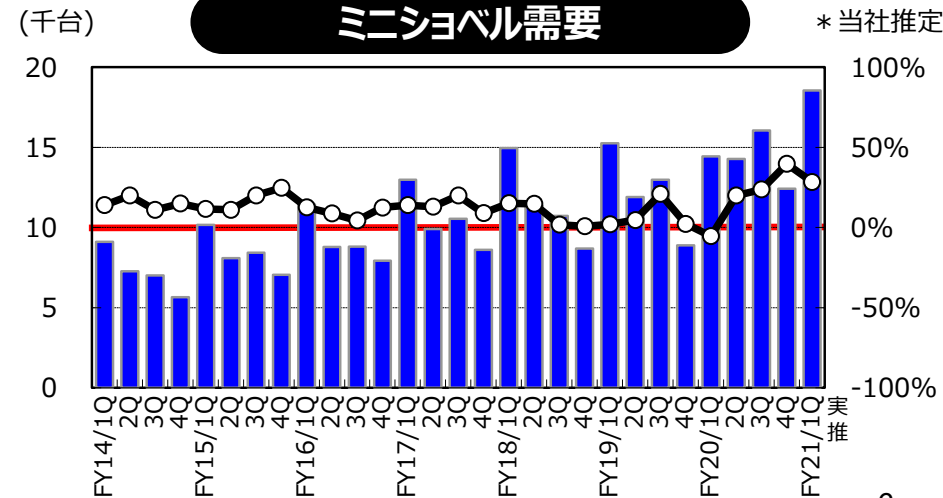
油圧ショベル需要



米国建設投資 (前年同期比)



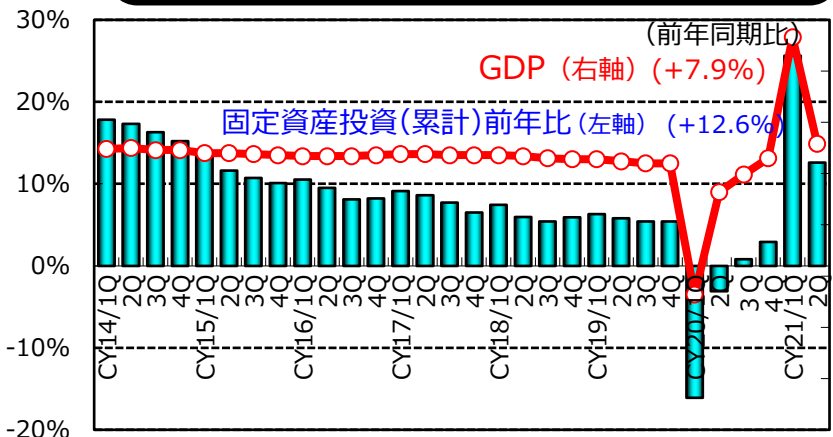
ミニショベル需要



- GDP成長率は+7.9%
- 油圧需要は減少（前年同期比 -37%、外資のみ）

GDP・固定資産投資

(%)

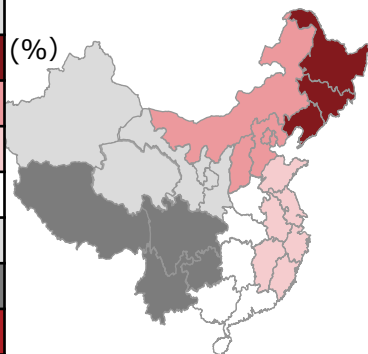


* 中国国家统计局

地域別油圧ショベル四半期別前年比

* 外資のみ
* 当社推定

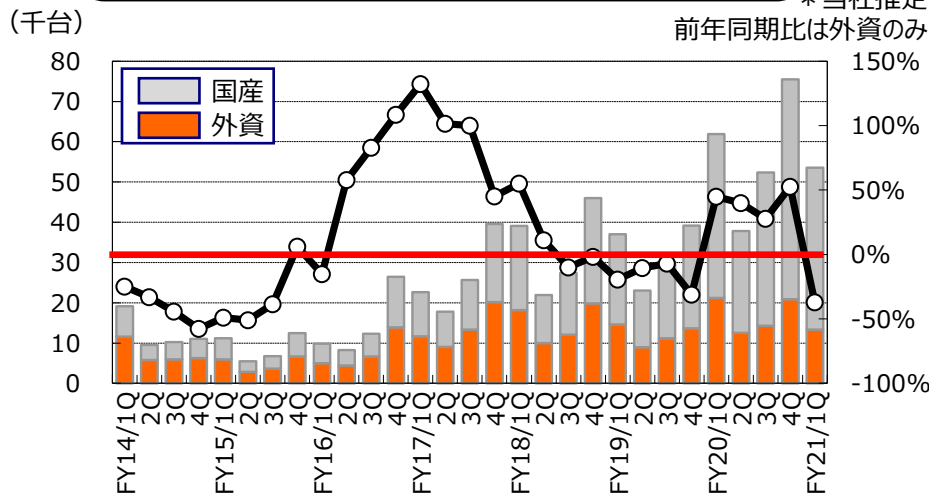
FY20	2Q	3Q	4Q	1Q
東北	+112	+27	+98	-31%
華北	+40	+23	+76	-20%
華東	+57	+36	+42	-42%
華中南	+22	+22	+70	-42%
西北	+64	+27	+68	-42%
西南	+21	+26	+25	-35%
中国全体	+40	+28	+53	-37%



油圧ショベル需要

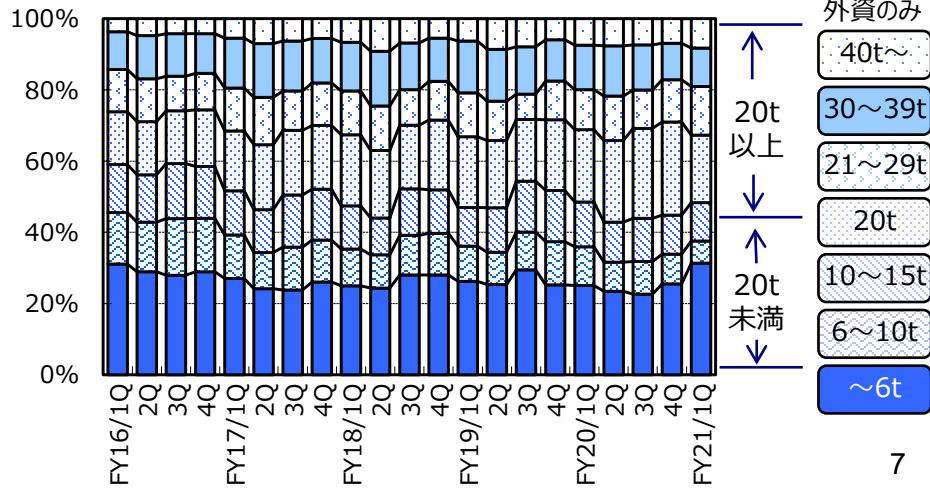
* 当社推定

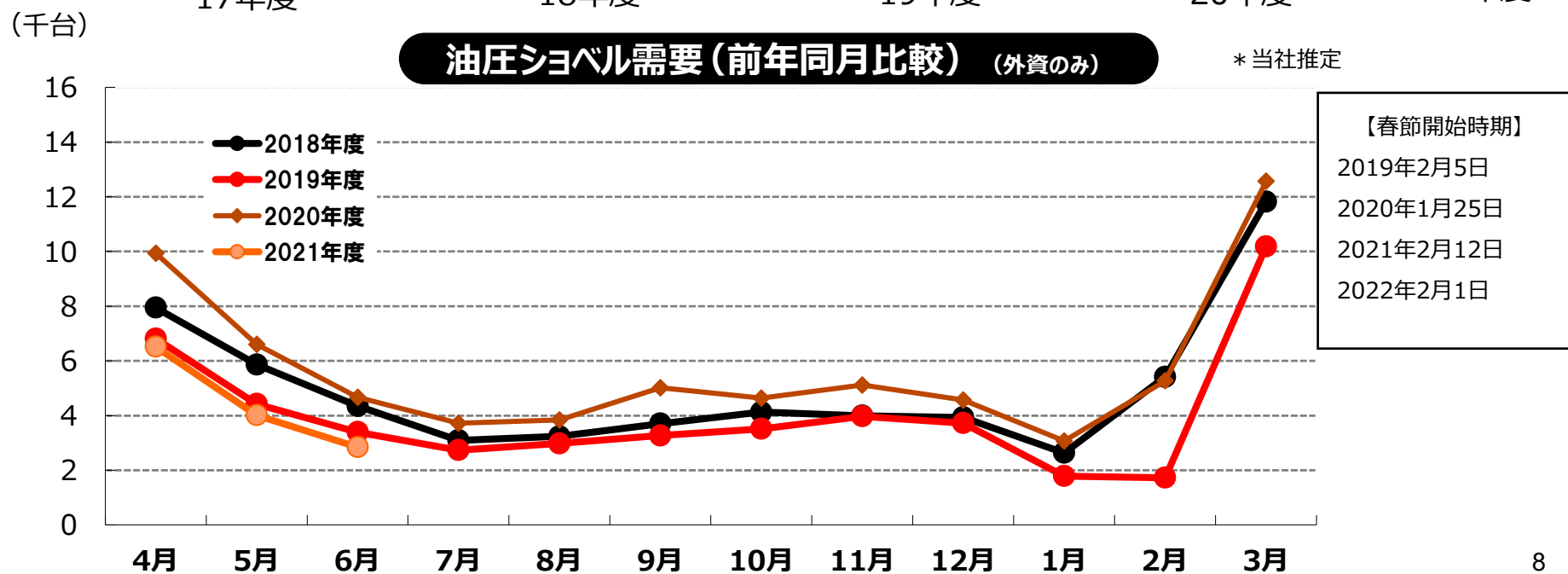
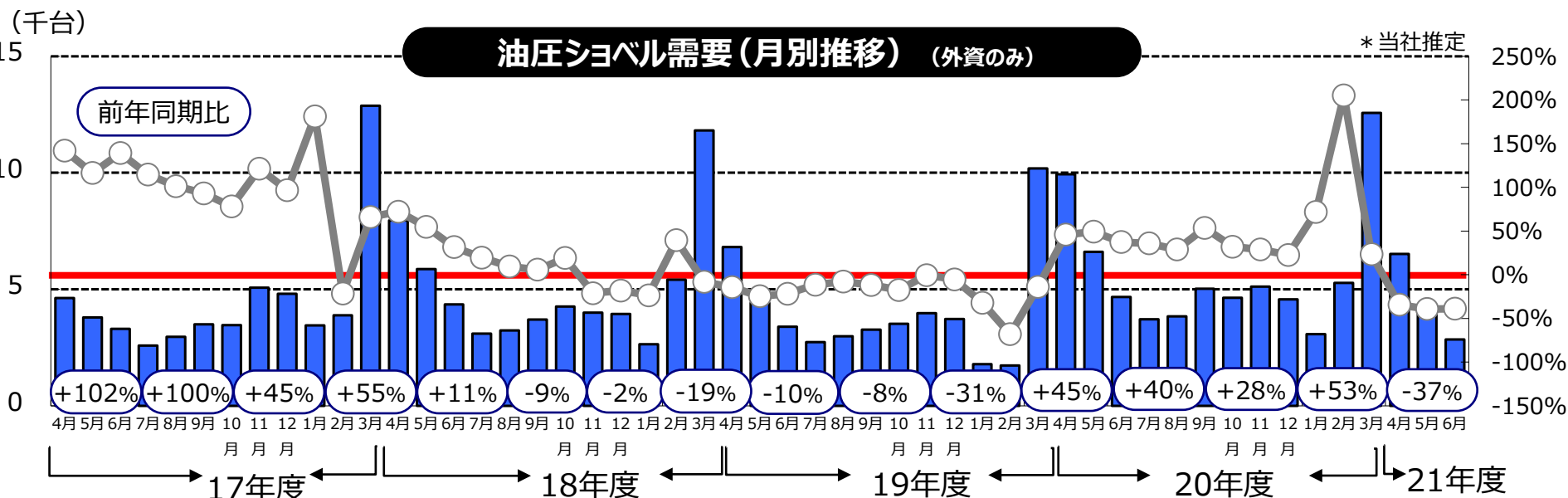
前年同期比は外資のみ



ミニ・油圧ショベル クラス別需要構成比

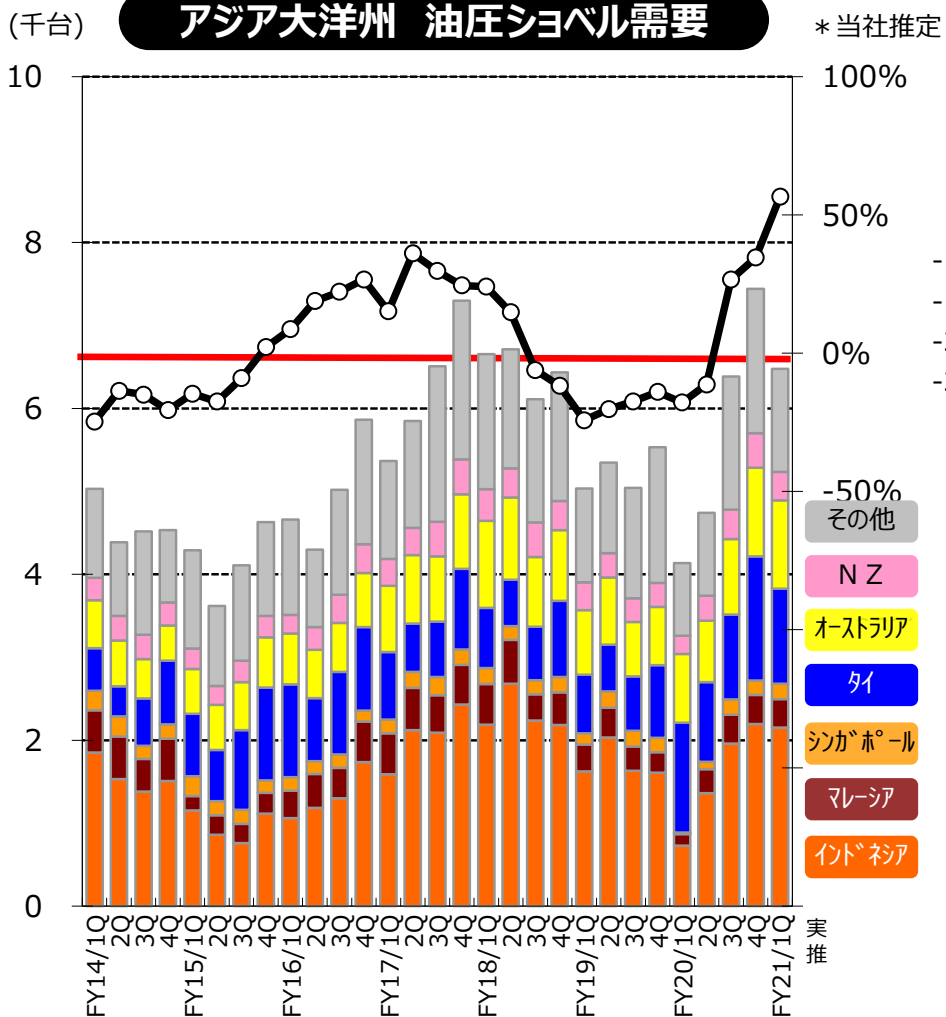
* 当社推定
外資のみ



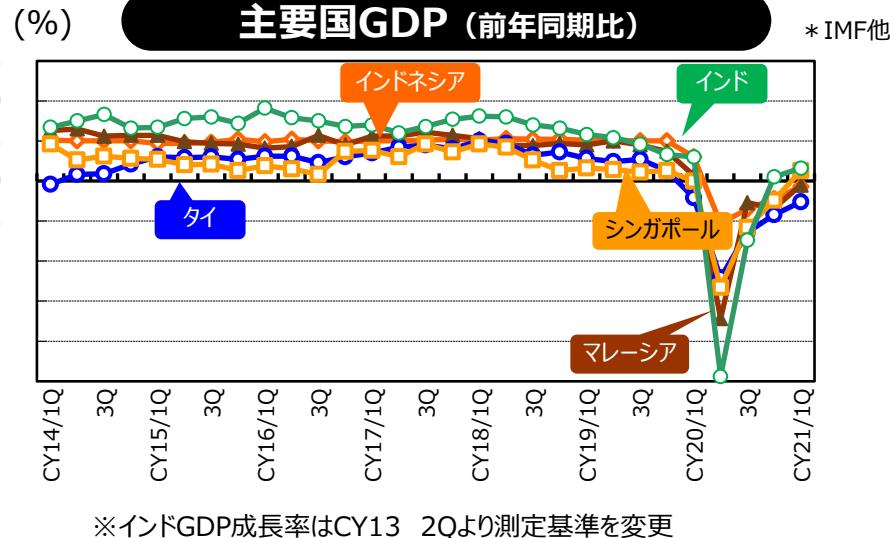


- アジア大洋州の油圧需要は全体では前年同期比 +57%
- インドの油圧需要は前年同期比 +107%

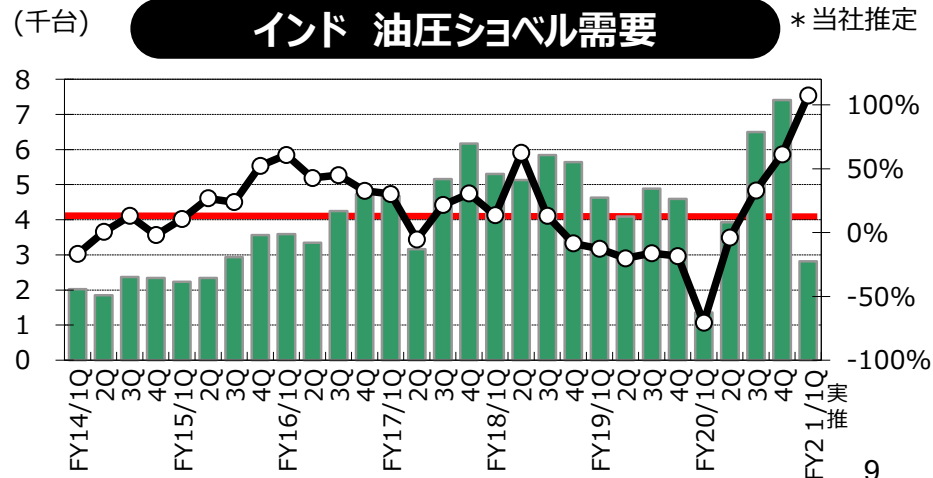
アジア大洋州 油圧ショベル需要



主要国GDP (前年同期比)

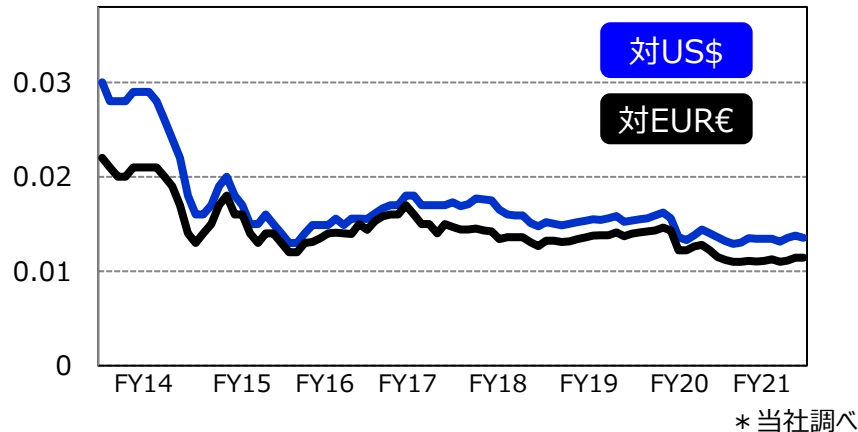


インド 油圧ショベル需要

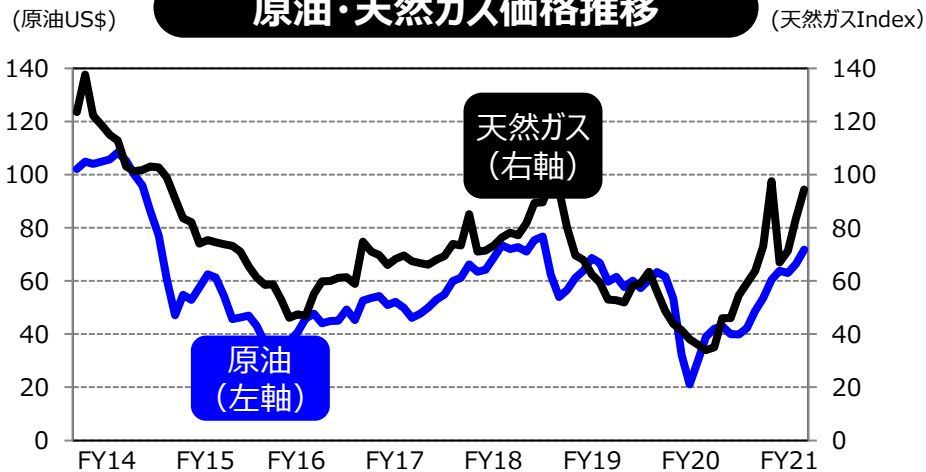


- ロシアの油圧需要は前年同期比 +38%
- 中東の油圧需要は前年同期比 +23%

ルーブル為替推移



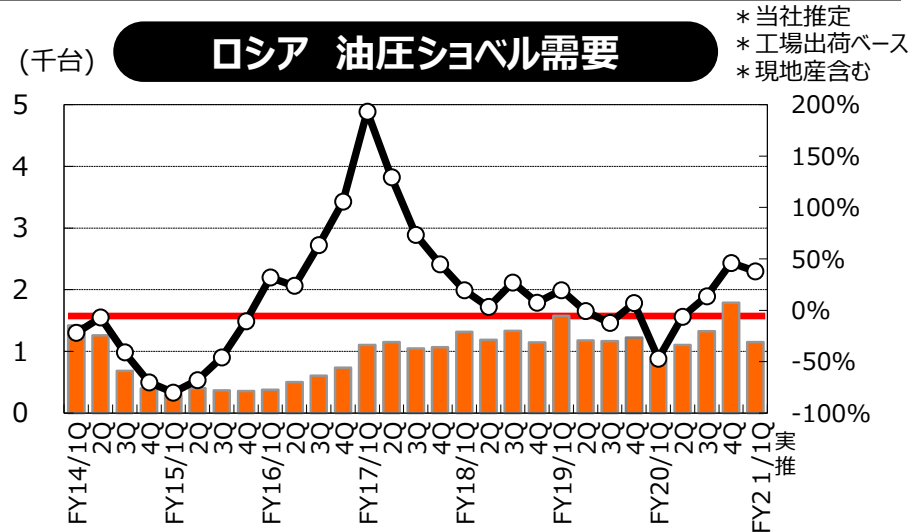
原油・天然ガス価格推移



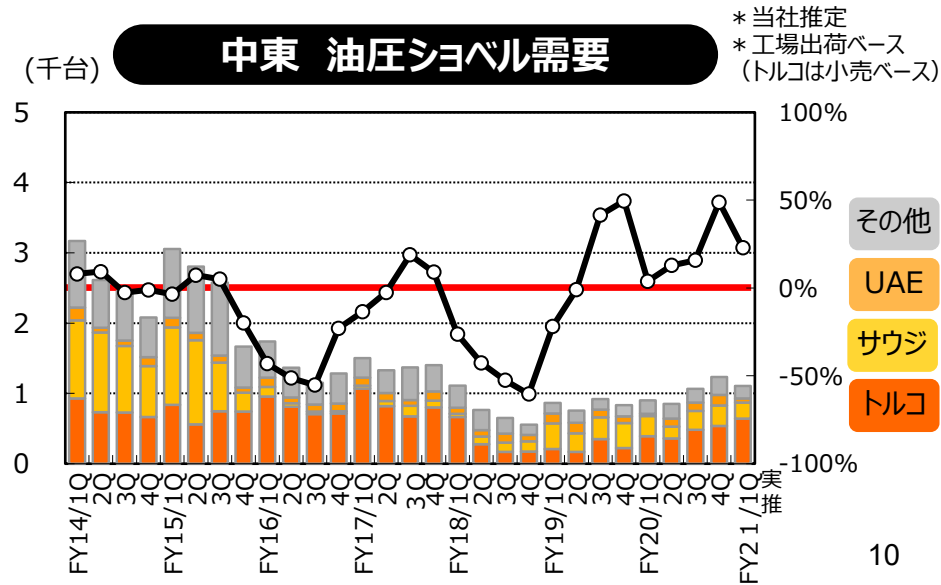
* 世界銀行ホームページより当社作成

* 天然ガスIndex : 2010年=100

ロシア 油圧ショベル需要

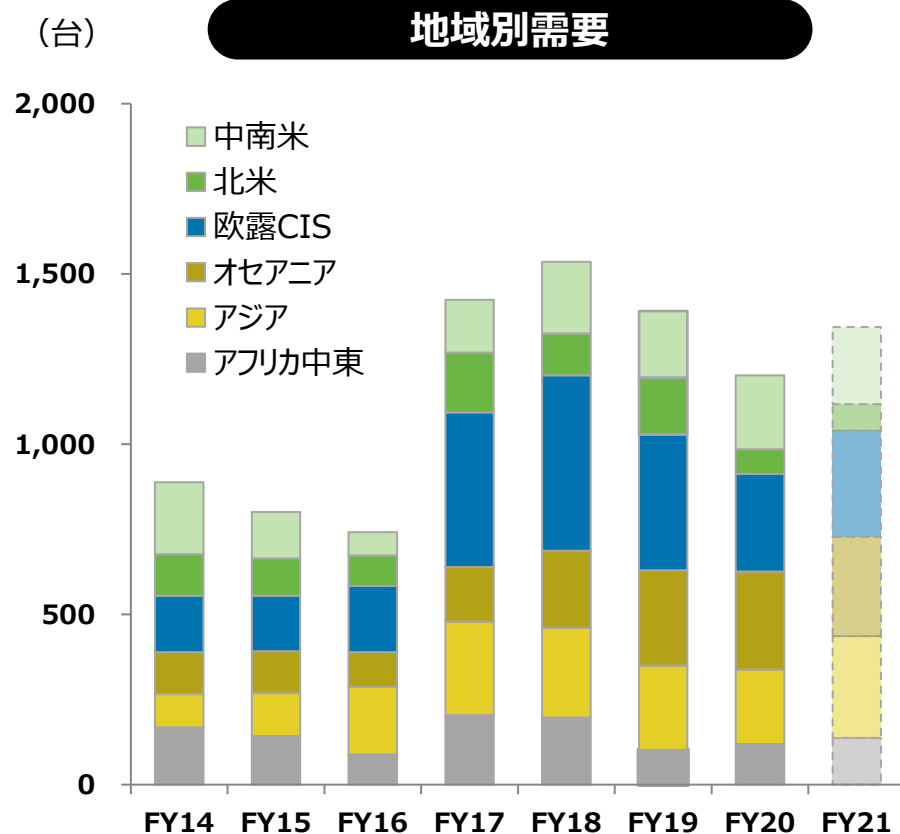
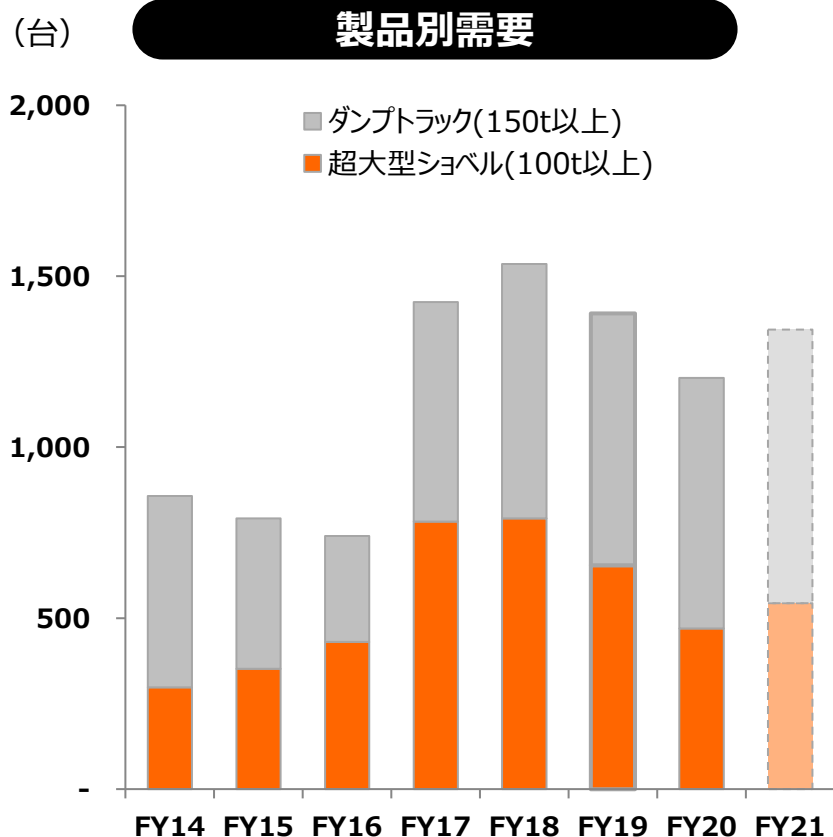


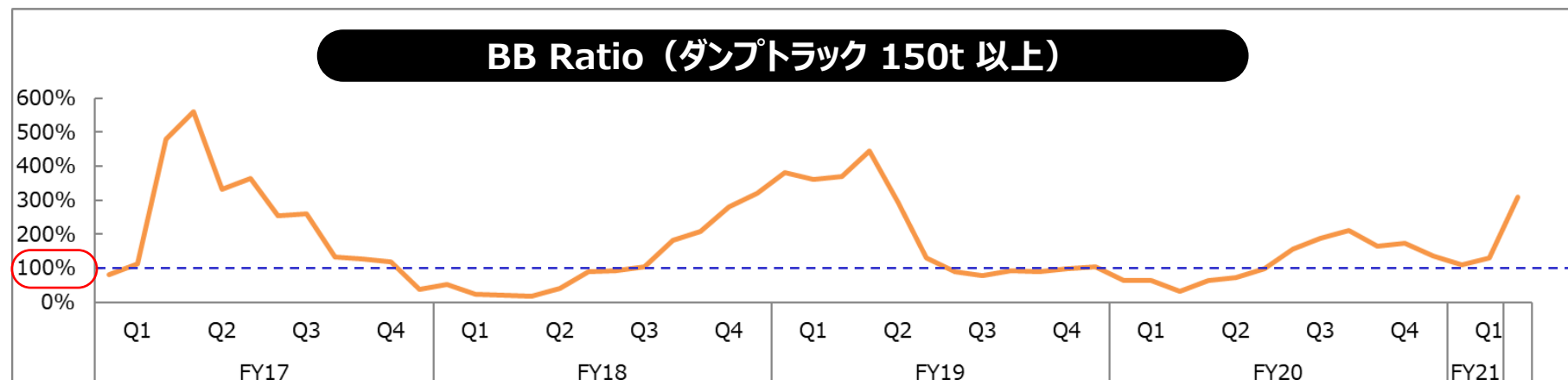
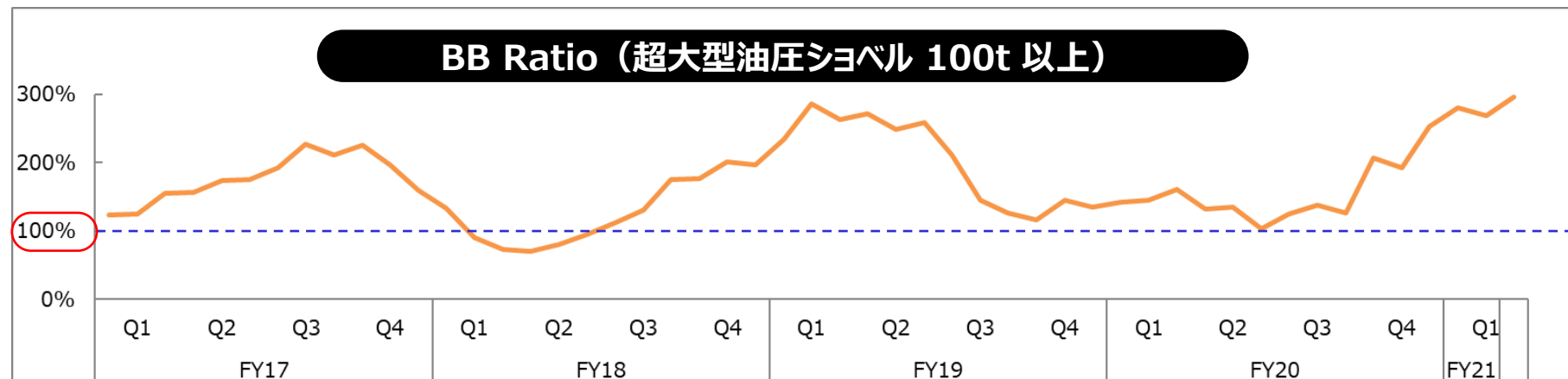
中東 油圧ショベル需要



- 21年度マイニング需要は対前年+15%増加を見通す
- ハードロック向け需要は依然堅調、中小鉱山・コントラクタ向け100tクラスショベル需要増加

超大型油圧ショベル(100t以上)、ダンプトラック(150t以上)





※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

トピック(1) : ABBとフル電動ダンプトラックの共同開発開始

HITACHI

Reliable solutions

「ネット・ゼロ・エミッション・マイニング」の実現に向けて
2024年半ばから お客様の鉱山で実験開始をめざす

トロリー充電式によりバッテリー搭載量を抑制

- ・ 初期費用・ライフサイクルコストを抑制
- ・ 車体重量を軽くして、積載量を最大化
- ・ 充電のために停車不要、高稼働率を実現

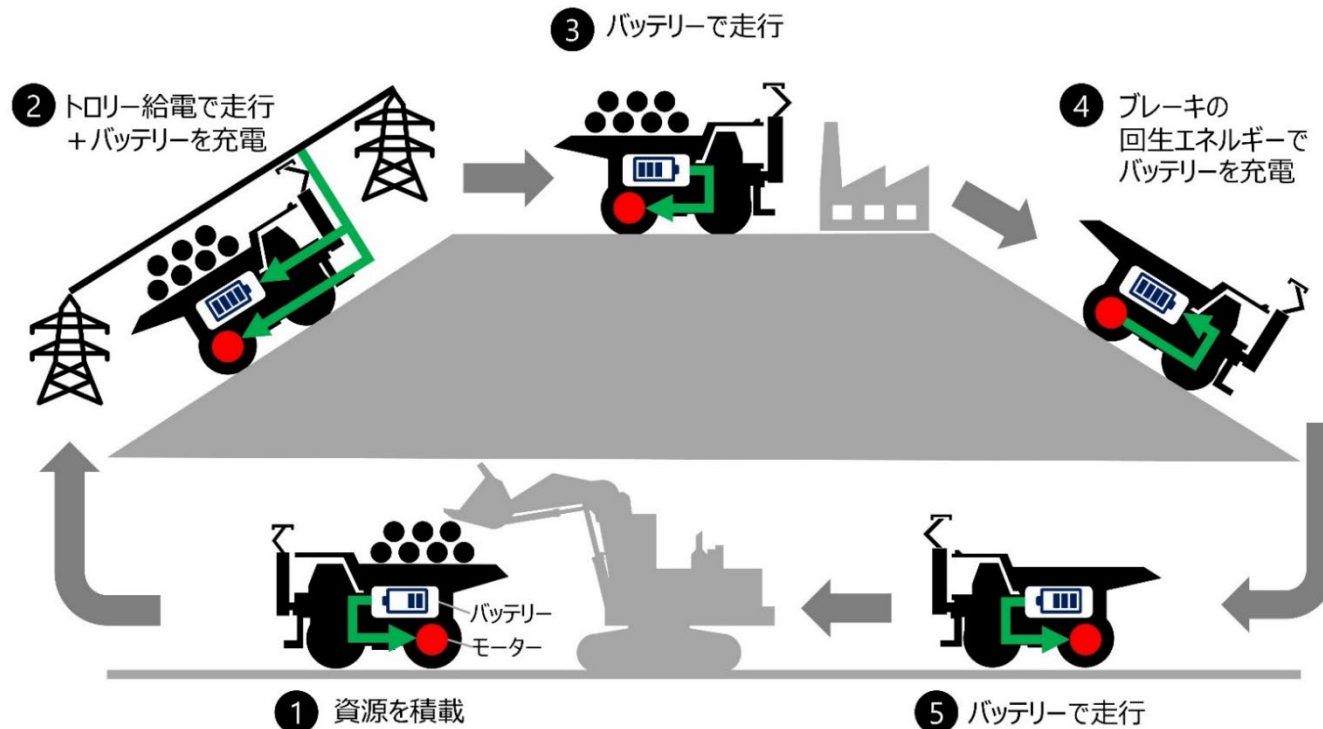


トロリー充電式リジッドダンプトラック

13 気候変動に
具体的な対策を



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



トピック(2)：東南アジア市場のマーケティング・販売を強化

HITACHI

Reliable solutions

2021年4月より土木専用機ユーザーテストを実施中

- ・ 現地の都市土木に最適な仕様・構造を検討
- ・ 現地のお客さまの声を製品開発に反映



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



中古車事業の展開を加速、バリューチェーン事業を深化

- ・ 東南アジア地域で中古車を調達、保証付き・整備済みの認定中古車として展開
- ・ 自社でのレンタル後、良質な中古車を創出
- ・ 中古車販売後も、ConSite®の活用によりメーカ品質の保守・サービスを提供

12 つくる責任 つかう責任



【展開地域】

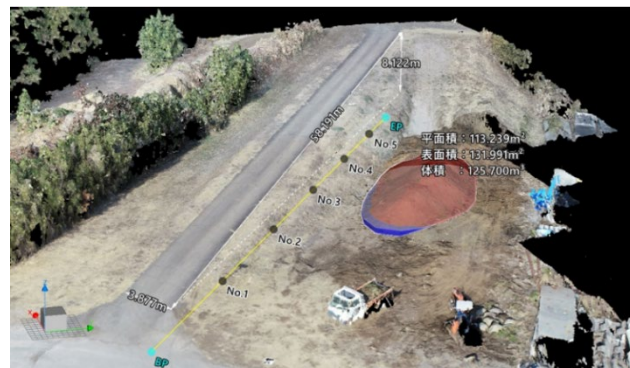
■ 保証付き中古車 + 整備済み中古車
(PREMIUM USED + REFURBISHED USED)

📍 レンタル事業 (PREMIUM RENTAL)



Solution Linkage® Point Cloud の提供を開始

ドローンで撮影した写真をクラウド上で処理し、3次元点群データ化が可能



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



ICT・IoTソリューション「Solution Linkage®」を通して、お客さまの課題である「安全性向上」「生産性向上」「ライフサイクルコスト低減」に貢献

Solution Linkage® シリーズ

Solution Linkage®
Assist

ICT搭載建機



Solution Linkage®
Cloud

アプリケーションポータル



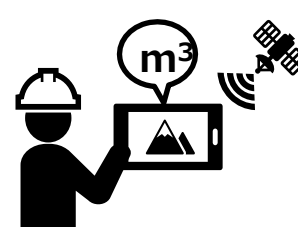
Solution Linkage®
Mobile

ダンプトラックなどの運行管理



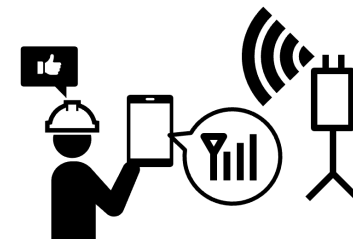
Solution Linkage®
Survey

スマートフォンで土量計測



Solution Linkage®
Wi-Fi

現場にネットワーク環境を構築



東京オリンピック クレー射撃競技 女子トラップ、混合トラップ日本代表 日立建機クレー射撃部所属 中山由起枝（なかやまゆきえ）選手



応援よろしくお願いします!



プロフィール

1997年入社。高校生までソフトボール選手として活躍後、当社入社を機にクレー射撃へ競技転向。クレー射撃競技歴24年。5度目の五輪に挑む。

情報誌「TIERRA+」 Vol.134

「クレー射撃の観戦のススメ」

クレー射撃の魅力をご紹介します。ぜひご覧ください。

2. 2022年3月期第1四半期 決算説明

執行役 財務本部長兼CFO

塩嶋 慶一郎

当第1四半期は、COVID-19の影響はあるも、為替円安影響145億円などにより、売上収益は前年同期比34%増収、調整後営業利益は303%増益。

(単位：億円)

		21年度 1Q	20年度 1Q	前年同期比 増減率
売上収益		2,281	1,702	34%
調整後営業利益 *1		(5.2%) 118	(1.7%) 29	303%
営業利益		(5.2%) 119	(1.5%) 25	374%
税引前四半期利益		(5.3%) 120	(1.1%) 18	572%
親会社株主に帰属する 四半期利益		(3.1%) 71	(0.1%) 2	-
EBIT *2		(5.5%) 127	(1.6%) 27	369%
為替	アメリカドル	109.5	107.6	1.9
	ユーロ	132.0	118.5	13.5
	中国元	17.0	15.2	1.8
	オーストラリアドル	84.3	70.7	13.7

*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

*2 [EBIT]は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。(EBIT=Earnings before interests and taxes)

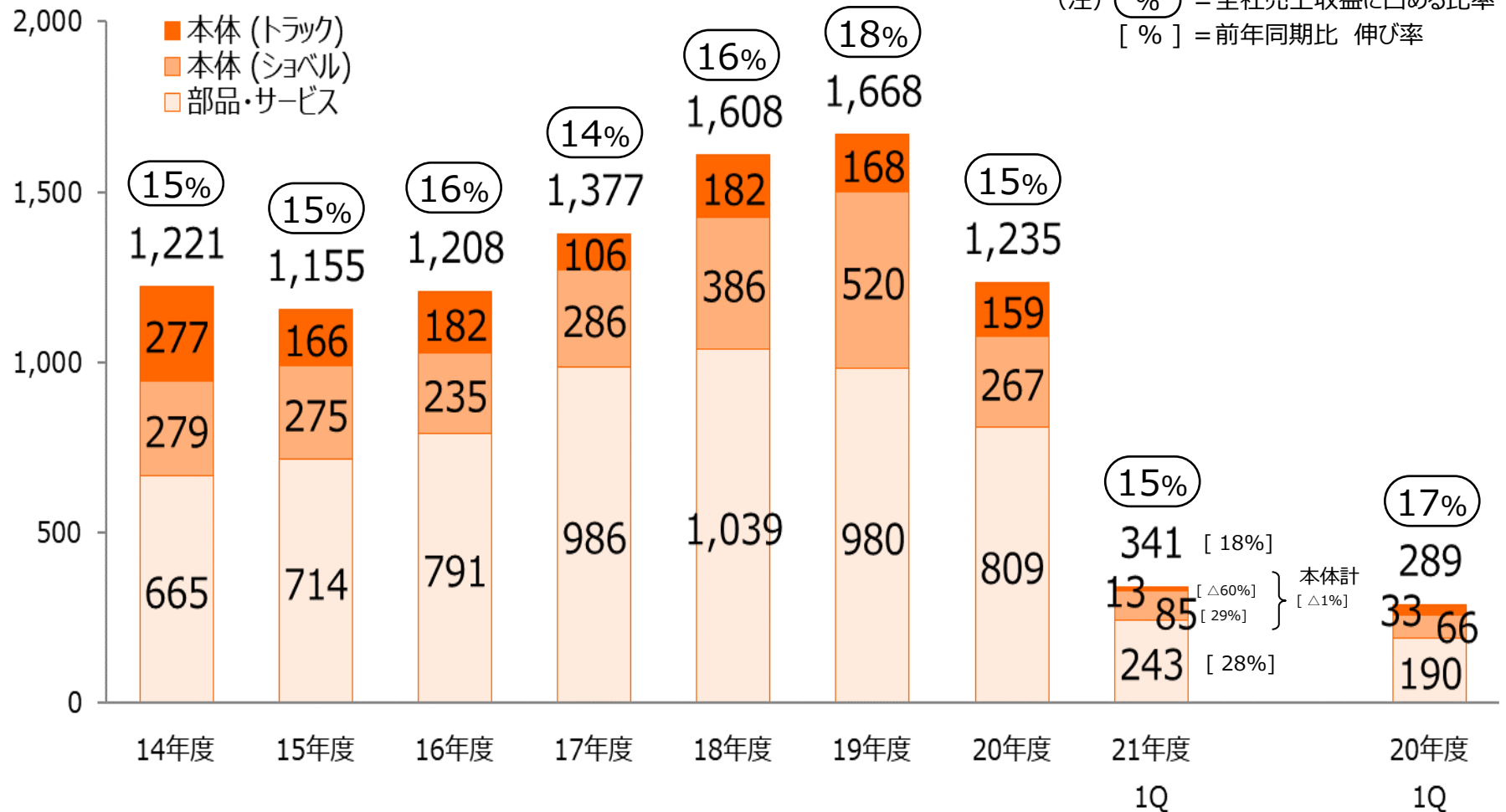
中国を除き各地域で前年同期比増収となり、連結合計では580億円の増収。

(単位：億円)

	21年度 1 Q		20年度 1 Q		前年同期比	
					金額	増減率
日本	432	19%	399	23%	33	8%
アジア	163	7%	92	5%	71	77%
インド	99	4%	48	3%	51	107%
オセアニア	397	17%	331	19%	66	20%
欧州	314	14%	135	8%	179	132%
北米	421	18%	279	16%	142	51%
中南米	47	2%	28	2%	19	67%
ロシアCIS	76	3%	43	3%	33	77%
中東	65	3%	33	2%	32	95%
アフリカ	93	4%	62	4%	31	49%
中国	175	8%	251	15%	△ 75	△ 30%
合計	2,281	100%	1,702	100%	580	34%
海外売上収益比率	81%		77%			

当第1四半期は、為替円安影響32億円もあり、前年同期比18%増の341億円。

(単位：億円)



バリューチェーン*1 売上収益推移

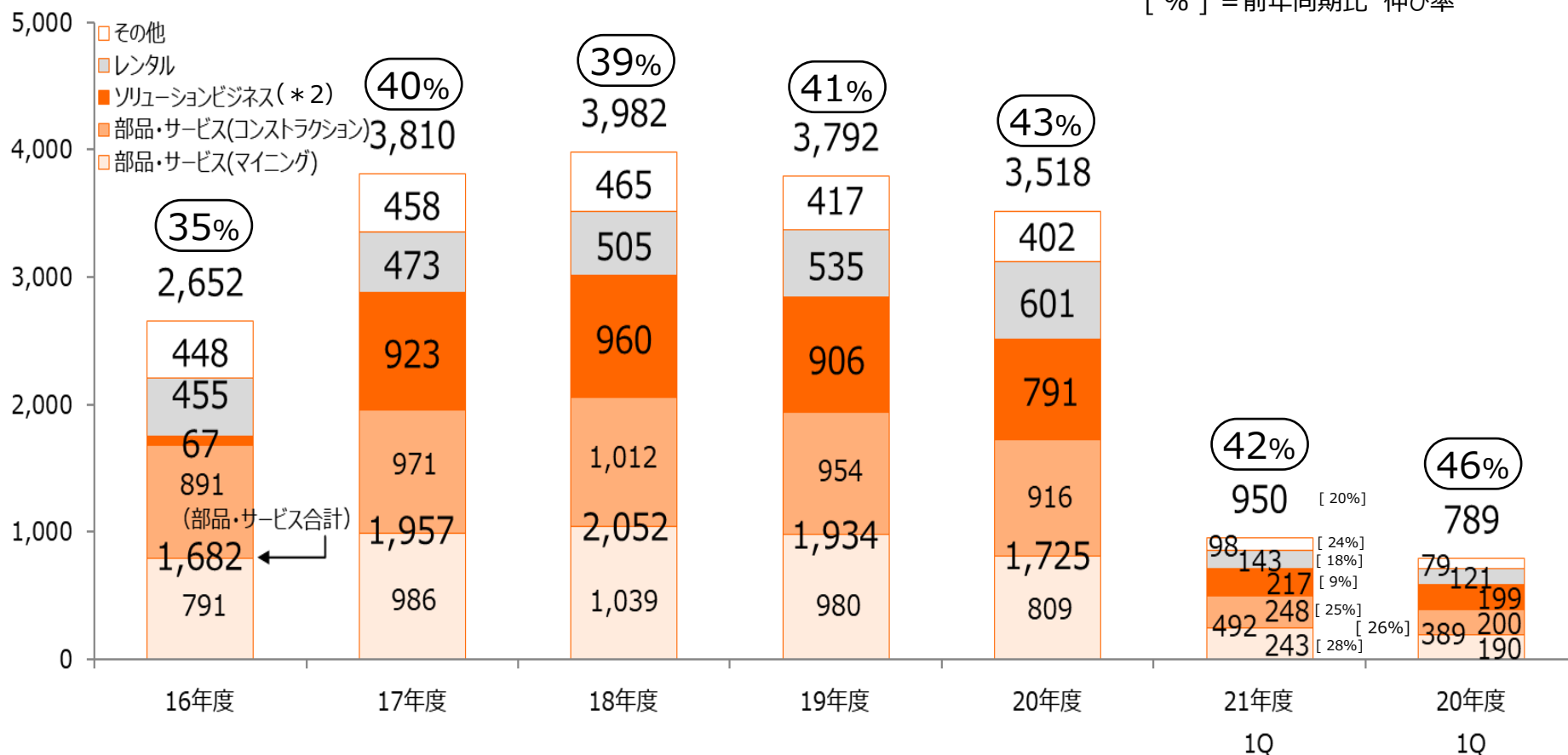
HITACHI

Reliable solutions

当第1四半期は、為替円安影響70億円もあり、合計では前年同期比20%増収の950億円。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年同期比 伸び率

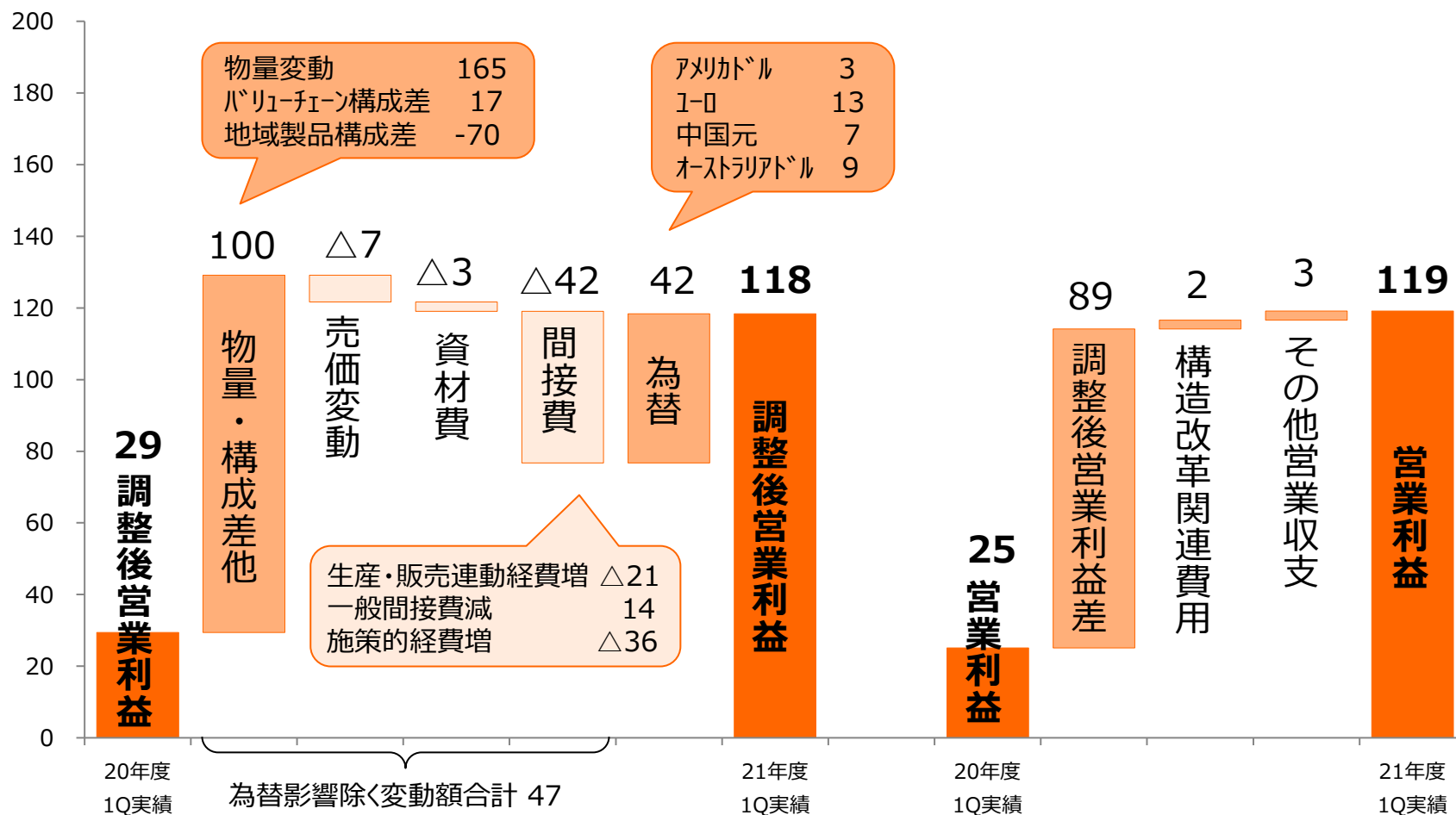


*1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

*2 ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

調整後営業利益は、物量・構成差増及び為替円安影響等により、間接費増はあるも前年同期比で89億円の増益。

(単位：億円)



販売費・管理費は442億円と前年同期比76億円の増。

(単位：億円)

	21年度 1 Q		20年度 1 Q		前年同期比	
					金額	増減率
売上収益		2,281		1,702	580	34%
売上原価	(75.4%)	1,721	(76.7%)	1,306	415	32%
販売費・管理費	(19.4%)	442	(21.5%)	366	76	21%
調整後営業利益 *1	(5.2%)	118	(1.7%)	29	89	303%
その他の収益及び費用		1		△4	5	-
営業利益	(5.2%)	119	(1.5%)	25	94	374%
金融収益及び費用		△11		△8	△2	29%
持分法投資損益		12		1	11	-
税引前四半期利益	(5.3%)	120	(1.1%)	18	102	572%
法人所得税費用		42		6	36	602%
四半期利益	(3.4%)	78	(0.7%)	12	67	557%
親会社株主に帰属する 四半期利益	(3.1%)	71	(0.1%)	2	69	-

*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

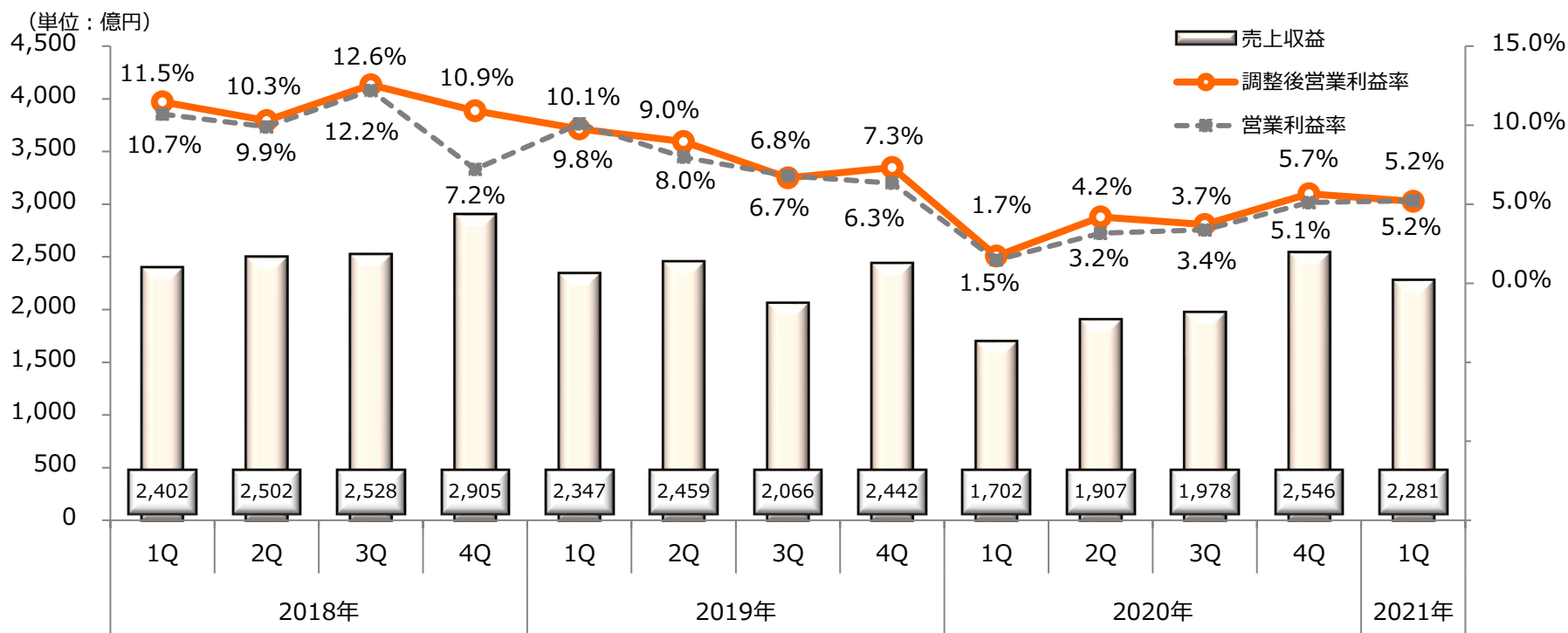
要約連結 四半期別売上収益・営業利益（率）

HITACHI

Reliable solutions

(単位:億円)

	2018年				2019年				2020年				2021年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	2,402	2,502	2,528	2,905	2,347	2,459	2,066	2,442	1,702	1,907	1,978	2,546	2,281
調整後営業利益	276	258	318	317	229	221	138	179	29	80	74	144	118
営業利益	257	248	308	210	237	196	141	155	25	60	67	130	119



四半期別 為替レート	2018年				2019年				2020年				2021年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
アメリカドル	109.1	111.5	112.9	110.2	109.9	107.4	108.8	108.9	107.6	106.2	104.5	105.9	109.5
ユーロ	130.1	129.6	128.8	125.2	123.5	119.3	120.3	120.1	118.5	124.1	124.5	127.7	132.0
中国元	17.1	16.4	16.3	16.3	16.1	15.3	15.5	15.6	15.2	15.4	15.8	16.4	17.0
オーストラリアドル	82.6	81.5	81.1	78.5	76.9	73.6	74.3	71.8	70.7	75.9	76.3	81.8	84.3

要約連結財政状態計算書

HITACHI

Reliable solutions

当四半期末は、営業債権の圧縮△160億円により流動資産計△48億円の圧縮。

(単位：億円)

	(A) 21年1Q	(B) 20年度末	(C) 20年1Q	(A)-(B) 増減
現金及び現金同等物	727	803	710	△77
営業債権	1,952	2,112	1,762	△160
棚卸資産	3,083	2,978	3,103	105
流動資産合計	6,123	6,172	5,933	△48
非流動資産合計	6,122	6,034	5,626	88
資産の部合計	12,245	12,206	11,559	40
非流動を含めた営業債権	2,360	2,527	2,153	△166
棚卸資産 内訳				
本体	844	773	835	71
部品	1,043	1,023	1,084	20
その他	1,196	1,182	1,184	13
棚卸資産計	3,083	2,978	3,103	105
手持日数（分母は売上収益）				(単位：日)
営業債権（非流動含む）	99	113	91	△14
棚卸資産	129	134	131	△5
営業債務	47	49	40	△3
正味運転資金	178	194	178	△16

	(D) 21年1Q	(E) 20年度末	(F) 20年1Q	(D)-(E) 増減
営業債務及びその他債務合計	1,919	1,992	1,666	△73
社債及び借入金	3,283	3,295	3,439	△12
負債の部合計	6,468	6,513	6,265	△45
（親会社所有者帰属持分比率）	(42.6%)	(42.1%)	(41.2%)	(0.5%)
資本の部合計	5,777	5,692	5,294	85
負債・資本の部合計	12,245	12,206	11,559	40
有利子負債計	(26.8%) 3,283	(27.0%) 3,295	(29.8%) 3,439	(△0.2%) △12
現金及び現金同等物	727	803	710	△77
ネット有利子負債	(20.9%) 2,556	(20.4%) 2,492	(23.6%) 2,729	(0.5%) 64
ネットD/ELレシオ	0.49	0.48	0.57	0.01

営業キャッシュ・フローは67億円のポジティブ。

(単位：億円)

	21年度 1Q	20年度 1Q	前年同期比 増減額
四半期利益	78	12	67
減価償却費	212 133	129 118	82 16
売掛金及び受取手形の増減	186	419	△ 233
棚卸資産の増減	91 △ 103	199 △ 28	△ 107 △ 75
買掛金及び支払手形の増減	9	△ 192	201
その他	△ 236	△ 114	△ 123
営業活動に関するキャッシュ・フロー	67	214	△ 148
営業キャッシュ・フロー・マージン率	2.9%	12.6%	△9.7%
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△ 82	△ 93	11
フリー・キャッシュ・フロー	△ 15	122	△ 137
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△ 66	△ 43	△ 23

要約連結損益計算書(予想)

HITACHI

Reliable solutions

21年度連結損益計算書は、前回予想と同様を見込む。

(単位：億円)

	21年度 予想			20年度 実績		前年比	
						金額	増減率
売上収益	8,800			8,133		667	8%
	(7.0%)			(4.0%)		(3.0%)	
調整後営業利益	620			327		293	90%
	(6.6%)			(3.5%)		(3.1%)	
営業利益	580			282		298	105%
	(6.4%)			(3.1%)		(3.2%)	
税引前当期利益	560			256		304	119%
	(3.7%)			(1.3%)		(2.4%)	
親会社株主に帰属する当期利益	323			103		220	212%
EBIT	588			287		300	
通貨	1Q	2Q-4Q	年度	20年度		前年比	
	実績	予想	予想	実績			
アメリカドル	109.5	105.0	106.0	106.0		△ 0.0	
ユーロ	132.0	125.0	126.9	124.6		2.3	
中国元	17.0	16.0	16.2	15.7		0.5	
オーストラリアドル	84.3	80.0	81.0	76.0		5.0	
1株当たり配当金 *1	未定			20円		-	

為替感応度は
参考資料1を
ご参照ください

*1 [1株当たり配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向30%程度、もしくはそれ以上をめざします。

要約地域別売上収益(予想)

HITACHI

Reliable solutions

21年度連結売上収益は、中国、インド、アフリカで対前回予想減となるが、それ以外の地域で増となり、合計では前回同様の前年比667億円の増収を見込む。

(単位：億円)

	21年度 予想		20年度 実績		前年比	
					金額	増減率
日本	2,115	24%	2,033	25%	81	4%
アジア	689	8%	527	6%	162	31%
インド	468	5%	500	6%	△33	△7%
オセアニア	1,450	16%	1,399	17%	50	4%
欧州	990	11%	878	11%	112	13%
北米	1,494	17%	1,072	13%	422	39%
中南米	142	2%	109	1%	34	31%
ロシアCIS	347	4%	227	3%	120	53%
中東	205	2%	161	2%	45	28%
アフリカ	303	3%	336	4%	△33	△10%
中国	596	7%	891	11%	△295	△33%
合計	8,800	100%	8,133	100%	667	8%
海外売上収益比率	76%		75%			

マイニング売上収益推移(予想)

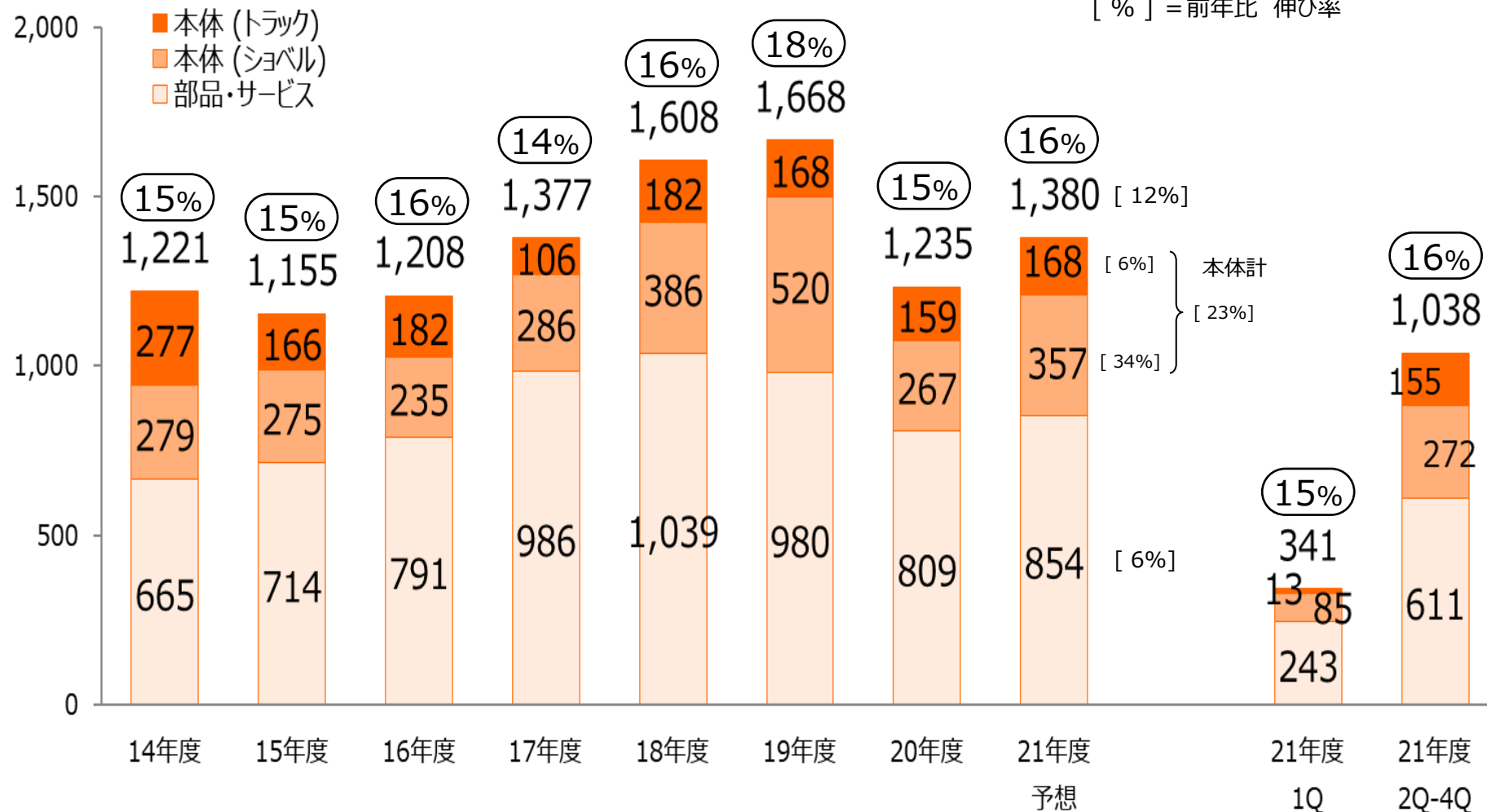
HITACHI

Reliable solutions

前回予想と同じ、前年比12%増収の1,380億円を見込む。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年比 伸び率

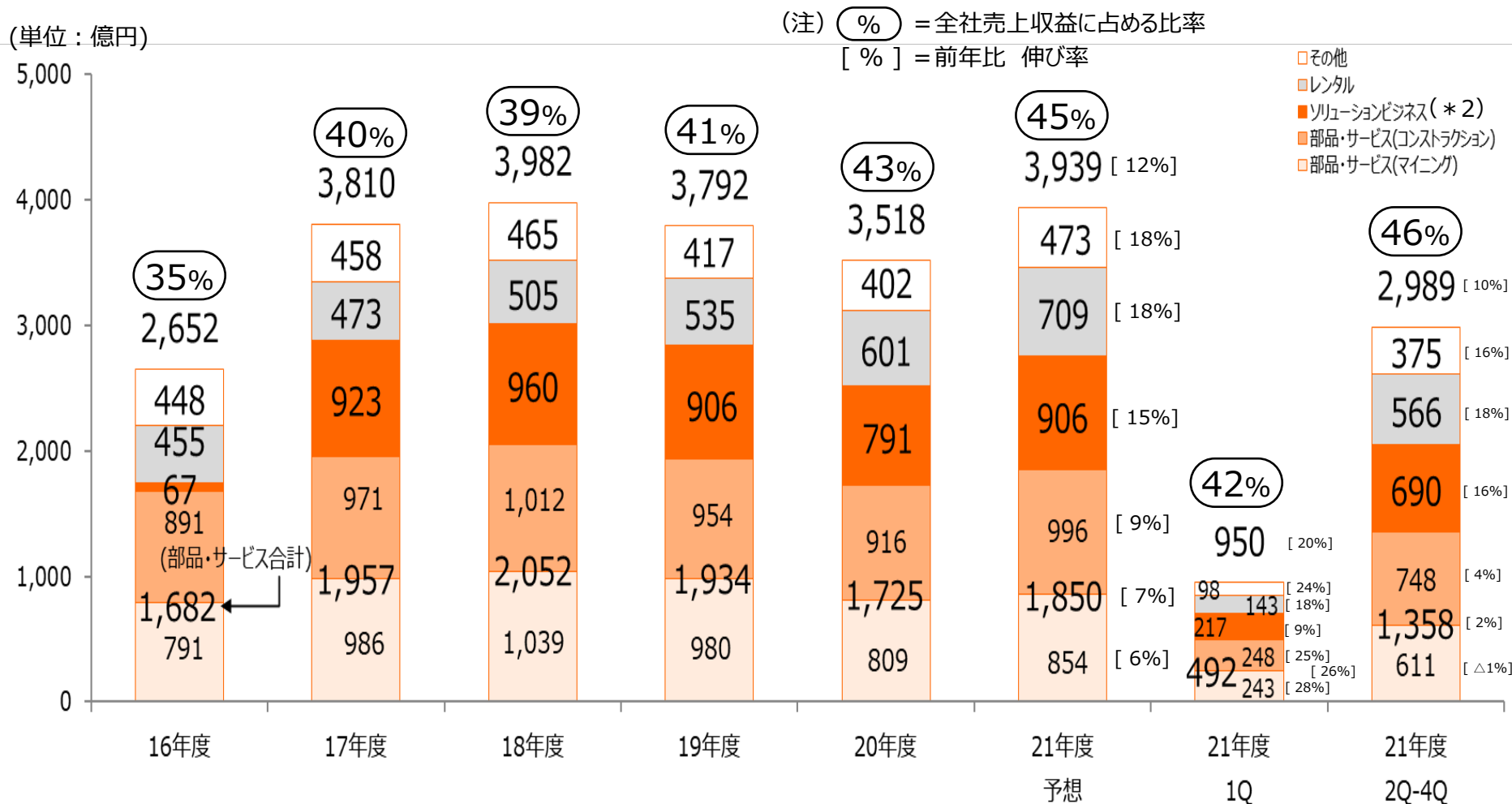


バリューチェーン*1 売上収益推移(予想)

HITACHI

Reliable solutions

部品サービスは前回予想と同じ、前年比7%増収の1,850億円を見込む。



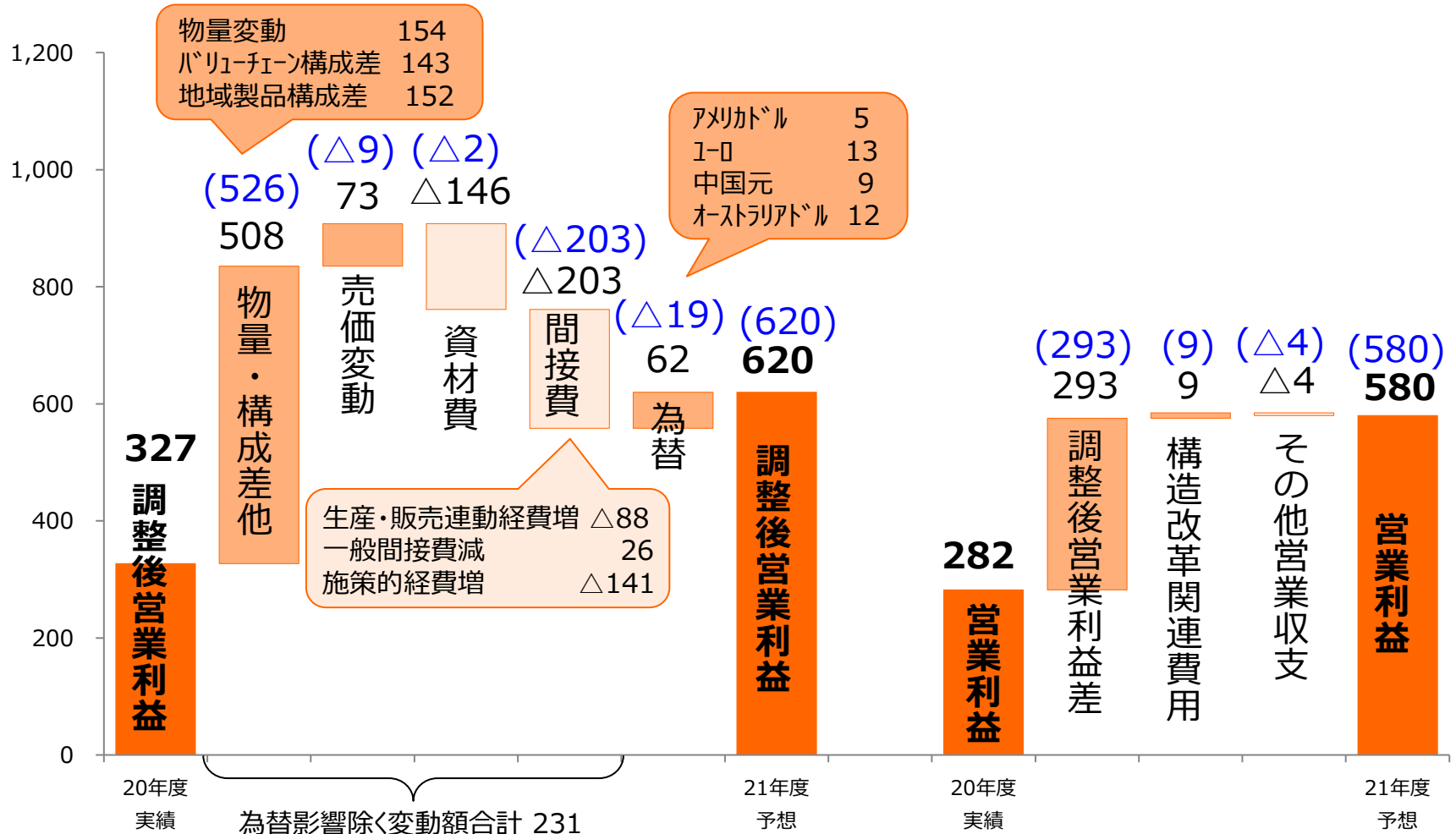
* 1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

* 2 ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

連結損益変動要因(予想)

21年度の調整後営業利益は、資材費アップ、間接費増はあるも、物量・構成差増や為替影響により前年比293億円の増益を見込む。

(単位：億円) 注.()内は21年4月公表値



参考資料 1 : 為替レート及び為替感応度

21年度予想為替レートは、通貨毎に予想変動レンジ内で合理的に設定。

為替レート及び為替感応度

(単位：億円)

通貨	為替レート				感応度(2Q-4Q累)		
	21年度			20年度 実績	基 準	売上収益	調整後 営業利益
	1Q 実績	2Q-4Q 予想	年度 予想				
アメリカドル	109.5	105.0	106.0	106.0	1円円安になった場合	17	13
ユーロ	132.0	125.0	126.9	124.6	1円円安になった場合	5	4
中国元	17.0	16.0	16.2	15.7	0.1円円安になった場合	3	1
オーストラリアドル	84.3	80.0	81.0	76.0	1円円安になった場合	16	2

参考資料 2 : マイニング売上収益内訳

HITACHI

Reliable solutions

(単位 : 億円)

		20年度実績			21年度見通し			差額		
		1Q	2-4Q累	年度	1Q	2-4Q累	年度	1Q	2-4Q累	年度
米州	ショベル	32	73	106	19	48	68	△ 13	△ 25	△ 38
	トラック	3	18	21	7	18	25	4	0	4
	計	35	91	127	26	66	92	△ 9	△ 25	△ 34
欧阿中東	ショベル	32	121	153	62	147	208	29	26	55
	トラック	20	103	122	37	102	139	18	△ 1	17
	計	52	224	276	99	248	347	47	25	72
アジア・大洋州	ショベル	119	377	496	162	484	646	43	107	150
	トラック	77	231	308	51	214	265	△ 26	△ 17	△ 43
	計	197	608	805	214	698	911	17	89	107
中国	ショベル	2	5	7	2	4	6	△ 0	△ 1	△ 1
	トラック	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	計	2	6	8	2	5	7	△ 0	△ 0	△ 1
日本	ショベル	3	13	16	1	15	16	△ 1	2	0
	トラック	0	4	4	0	6	6	△ 0	2	2
	計	3	17	20	1	20	21	△ 2	3	2
合計	ショベル	189	590	779	246	698	944	58	108	165
	トラック	100	356	456	95	340	436	△ 5	△ 16	△ 20
	計	289	946	1,235	341	1,038	1,380	53	92	145

参考資料 3 : セグメント情報

HITACHI

Reliable solutions

下記ソリューションビジネスの調整後営業利益は、P P A (資産再評価)償却費が含まれております。
21年度第1四半期実績には3億円、21年度予想には11億円がそれぞれ含まれております。

(単位：億円)

21年度 1Q	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	2,065	225	△ 9	2,281
調整後営業利益	4.9% 101	7.5% 17	-	5.2% 118

(単位：億円)

21年度 予想	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	7,894	906	0	8,800
調整後営業利益	6.9% 543	8.4% 77	-	7.0% 620

*1 [調整額]は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

日立建機グループでは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。
当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

世界を変えるための17の目標

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

END**お問い合わせ** **日立建機株式会社****ブランド・コミュニケーション本部**